

赤十字おおやま

NO. 06

Okayama Chapter



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

災害への備え

貴重品

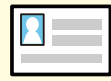
※現物を持ち出せなかった場合に備えて、必要に応じてコピーを入れておく



身分証明書



健康保険証



マイナンバーカード



母子健康手帳



印鑑



現金

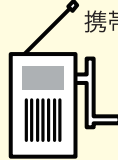


お薬手帳



銀行の口座番号・
生命保険契約番号など

情報収集用品



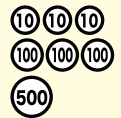
携帯ラジオ



予備の電池



家族の写真
(はぐれた時の確認用)



小銭(公衆電話用に
10円玉・100円玉)



家族との災害時の
取り決めメモ



携帯電話



予備の電池



非常用携帯
電話充電器



メモ
筆記用具

便利品など



防災ずきん
またはヘルメット



懐中電灯



予備の電池



笛やブザー
(音を出して居場所
を知らせるもの)



マスク



万能ナイフ



ホット
ホッカイロ



手袋



ビニール袋



アルミ製保護シート



毛布



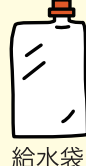
雨具



マッチか
ライター



スリッパ



給水袋



レインコート

食料など

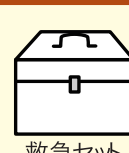


非常食



飲料水

清潔・健康のためのもの



救急セット



常備薬



タオル



ティッシュペーパー



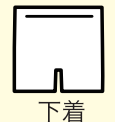
歯ブラシ



トイレトペーパー



着替え



下着

個々の実情に応じて必要となるもの

紙おむつ
(幼児用・
高齢者用
など)



生理用品



予備の眼鏡、
杖など自分の
生活に欠かせ
ないもの

災害に備えてできること

「平成30年7月」豪雨災害から1年が経ちました。今なお様々な災害が発生しています。表紙のイラストは**非常持ち出し品**の一例です。自分自身で必要なモノを準備して、非常持ち出し袋などに入れておきましょう。いのちを守り、暮らしをつなぐために、災害と地域を知り、自分自身と家族のための備えを実行することが大切です。そのポイントをご紹介します。

いのちを守るために

地震からいのちを守る

1 身の安全を確保する。

① 危険なモノから離れる



② 頭を保護する



2 安全なスペースを確保する。

大雨からいのちを守る

1 早めに安全な場所へ避難する。



2 声をかけながら率先して避難する。



3 避難が危険な場合は2階など、高い場所へ避難する。



災害からいのちを守る

1 ハザードマップを確認する。

自宅から避難場所の距離・身体的疲労

2 街歩きをする。

木造住宅密集地域や古く倒れそうなブロック塀

例えばこのようなことを確認しましょう

津波避難の標識

防災上役に立つモノなど

自分にしかできないことは自分で備える

1 非常持ち出し品の準備をする。

2 水や食料などの備蓄をする。

● 日常備蓄 (ローリングストック)

日常備蓄とは、食料を定期的に食べ、食べた分を買い足して備蓄する方法です。これにより災害時にも普段から食べているモノを食べることが出来ます。



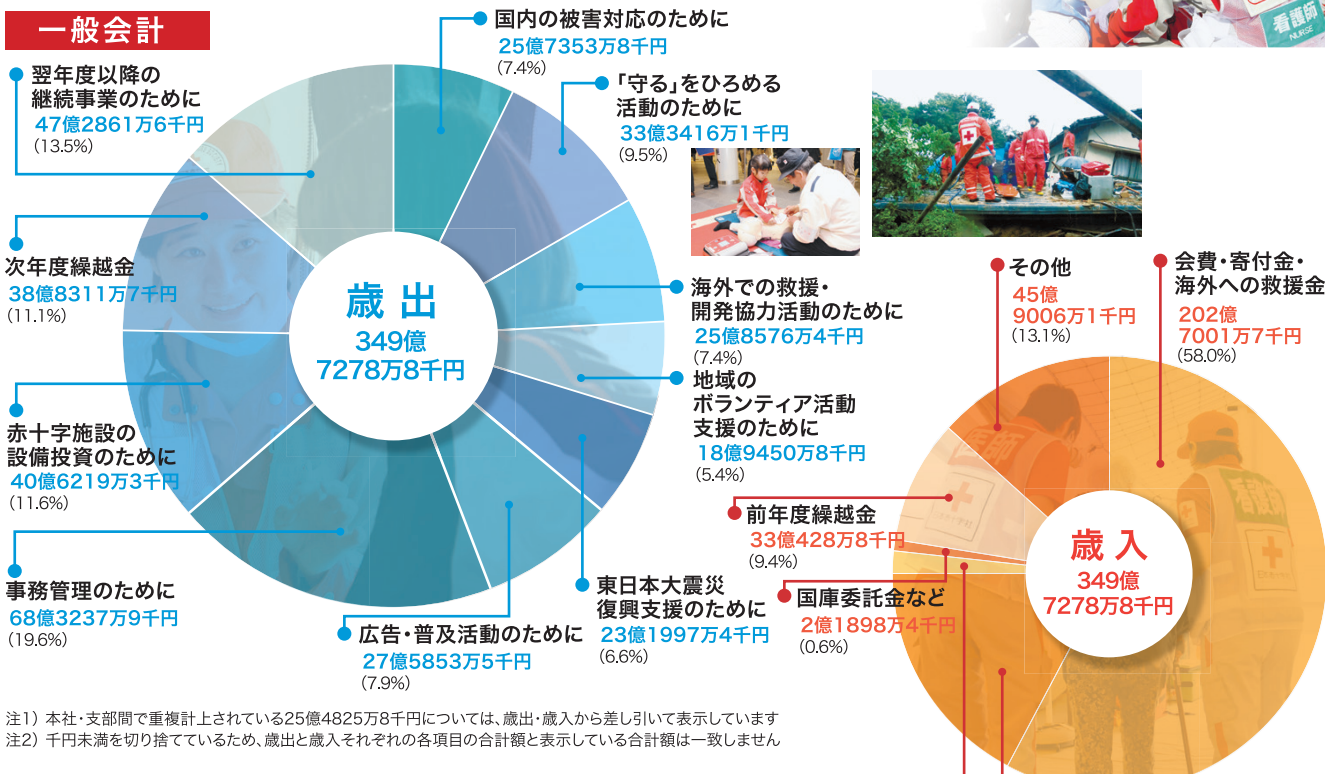
日頃の備え

指導者を派遣します

災害から、あなたと周囲の人々のいのちを守る「赤十字防災セミナー」として、町内会・自治会などに指導者を派遣します。詳しくは下記までお問い合わせください。

平成30年度 日本赤十字社の決算概要を報告します。

平成30年度、日本赤十字社は一般会計と3つの特別会計（医療施設、血液事業、社会福祉施設）をあわせて総額1兆2000億円を超える予算規模の事業を展開しました。このうち、個人・法人の皆さまからいただいた会費や寄付金を主な財源として実施した活動（一般会計）にかかる歳出歳入は以下のとおりです。



注1) 本社・支部間で重複計上されている25億4825万8千円については、歳出・歳入から差し引いて表示しています
注2) 千円未満を切り捨てているため、歳出と歳入それぞれの各項目の合計額と表示している合計額は一致しません

全額が被災された方々に届けられます 災害義援金 318億4692万4千円

【内訳】 平成30年大阪府北部地震災害義援金	3億4686万8千円
平成30年米原市竜巻災害義援金	3509万2千円
平成30年7月豪雨（西日本豪雨）災害義援金	238億5137万8千円
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	54億1508万8千円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	2億3641万5千円
平成29年台風第18号災害義援金	702万7千円
平成28年熊本地震災害義援金	4億6003万2千円
東日本大震災義援金	14億9502万2千円

※千円未満を切り捨てているため、合計は一致しません



「平成30年7月豪雨災害義援金」 受付および送金状況のご報告

■「平成30年7月豪雨岡山県災害義援金」配分委員会への送金状況

第1回目	3億2,501万1,601円	(平成30年7月27日送金)
第2回目	11億2,684万7,704円	(平成30年8月1日送金)
第3回目	37億5,200万8,102円	(平成30年8月28日送金)
第4回目	23億9,369万5,127円	(平成30年9月28日送金)
第5回目	18億9,833万1,087円	(平成30年10月31日送金)
第6回目	8億149万5,463円	(平成30年11月30日送金)
第7回目	4億5,173万835円	(平成31年1月10日送金)

■受付額

113億7,024万7,391円
(令和元年7月31日現在) ※日赤本社受付分を含む。

第8回目	2億2,964万2,300円	(平成31年2月15日送金)
第9回目	1億7,082万998円	(平成31年3月15日送金)
第10回目	6,264万3,535円	(平成31年4月16日送金)
第11回目	7,366万9,449円	(令和元年5月16日送金)
第12回目	4,543万5,983円	(令和元年6月14日送金)
第13回目	2,212万2,434円	(令和元年7月16日送金)
第14回目	1,679万2,773円	(令和元年8月16日送金)

計113億7,024万7,391円